

野村直樹の バイトソンセミナー 12/24(日)

『精神と自然』(1979)より「世界の重なりを見る」

今年の9月17日に心理技術研究会主催で第55回バイトソンセミナーを行ないました。題材は『精神と自然』より「誰もが学校で習うこと」でした。好評につき今回は、その続編として、『精神と自然』より「世界の重なりを見る」を扱いたいと思います。前回出席されなかった方もどうぞ遠慮なくご参加ください。

バイトソンセミナーではこれまで『精神の生態学』を取り上げてきましたが、今年は、『精神と自然』を皆さんとの勉強に選んでみました。それは、あたかも「動く言語」で語られる『精神の生態学』と比べ、『精神と自然』のほうは、バイトソンの遺作ということもあってか、言葉がいくぶん断定的で止まっています。その止まっている言語の良い点に目を向けることで把握しやすくなるバイトソンの側面があるかと思えます。とりわけバイトソンの記号論との親和性を垣間見ることができれば嬉しいと思えました。

日 時： 2017 年12月24日(日) 10:00～17:30

講 師： 野村直樹(名古屋市立大学)

主な著書：『やさしいバイトソン』『みんなのバイトソン』(金剛出版)
『ナラティブ・時間・コミュニケーション』『協働するナラティブ』(遠見書房) など

会 場： 原宿カウンセリングセンター(東京都渋谷区神宮前6-24-4観世ビル3F)

TEL:03-5469-0006

交通案内 地下鉄千代田線「明治神宮前駅」4番出口から徒歩5分

地下鉄副都心線「明治神宮前駅」7番出口から徒歩4分

JR「原宿駅(表参道口)」「渋谷駅」から徒歩10分

定 員： 18名ほど

参加費： 7000円 (当日受付でお支払ください)

申込方法：下記メールアドレスに、氏名、所属、職種などを明記の上、お申し込み下さい。

nomura@hum.nagoya-cu.ac.jp

※ナラティブ、オープンダイアログに興味がある方も参加いただけます。

※グレゴリー・バイトソン著『精神と自然』(新思索社)の第Ⅲ章「世界の重なりを見る」をお読みの上、ご参加ください。

※質問は遠慮なくメールにてどうぞ。